

「雑草魂」第70号

2021.2.10(水) 編集責任者：橋山 直記

私立入試を終えて Part 3

私は受験前日までは、あまり緊張していませんでした。しかし当日になると、どんどん緊張していきました。車の中では、要点ガイドを何度も見直したり、自分に自信をもたせていました。高校についてから点呼が始まるまでの約30分、寒いということも少しありましたが、膝がガクガクしていました。高校では、たくさんの方がいて、おなじ見崎の人といると、やっぱり安心していられることができました。数学、社会、理科のテストでは、分からない問題が少しありましたが、自信を持って解くことができました。自分が苦手としている国語と英語では、長文がありましたが無度も何度も読み直していました。テストとテストの間は、後ろの席が奏心だったため気持ちを落ち着かせるため少し話していました。しかし、待ってるときはとても静かでした。テストが終わり面接に行くときには、自分が言うことを、もう一度確認し、望むことができました。今までに、何度も面接練習をしてもらったので、先生や友達のおかげでしっかりとやりきることができました。一回だけつもりでしたが、自分の言いたいことをしっかりとと言えることができたのでよかったです。公立ではもっと緊張すると思うけど、自分をしっかりと出し切りたいです。

私は、受験前日からずっと緊張していました。受験会場に到着してからも、「ちゃんとできるかな、緊張するー。」と思っていましたが、「今までやってきたことを発揮できるように頑張ろう」という気持ちで臨むことができました(^ ^)そして、いよいよはじまる時間がきました。受けているときは時間配分をしっかりと、休憩時には次受ける科目の勉強をすることができたので、焦らずに自分のペースで受けることができましたと思います。

私の受験を支えてくれた家族や先生方、休み時間に勉強を一緒にしてくれて、教えてくれたお友達に、とても感謝しています。ありがとうございました。

私は2月3日に入試がありました。そこでへんな緊張をせず入試にのぞめたので良かったです。筆記試験では、ひねくれた問題が多く混乱しました。ですがしっかりとかせげるところで点数をかせげました。面接では入退室や、声の大きさ態度など、学校で練習したことが最大限に発揮できました。

あと1ヶ月で公立入試があるので合格できるよう頑張っていきたいです。

私は、家を出てから高校に着くまでの間とても緊張していましたが、集合場所に橋山先生や同じ西短を受ける3人がいるのを見て安心しました。着いてから少し話せる時間があつたので、緊張が和らぎました。試験会場では1人だったので、心細かったですが、雑草魂に書かれてあつたことや、友達や先生達や家族が応援してくれたり、支えてくれたことを思い出して頑張ることができました。面接もとても緊張しましたが、何回も練習したおかげでいつも通りできました。テストは、授業で過去問を解く時間を先生達が作ってくださったおかげで流れをつかむことができました。

自分らしく精一杯できたので良かったです。